U-Net PyTorch実装

何をするか

- U-NetをPyTorchで実装し、Dice, ASSDをもとにモデルの評価をする。
- 各指標の最小値・中央値・最大値に対応する画像・予測・正解 を可視化する。

Image Segmentationとは

- Image Classification
 - →入力画像に対してクラスを割り当てる。
- Image Segmentation
 - →画像の各ピクセルにクラスを割り当てる。
- <何が可能になるか>
 - →オブジェクトが画像のどこにあって
 - →どんな形をしているのか知ることができる。

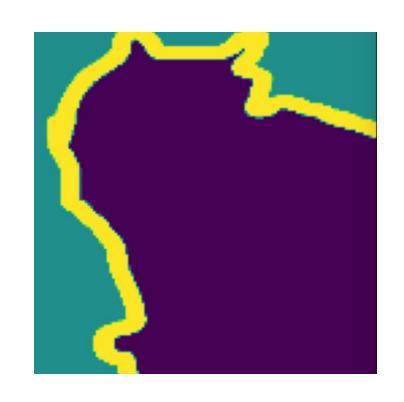
チュートリアルで使用するデータセット

- Oxford-IIIT Pet Dataset
 - →ペットの画像
 - →犬と猫
 - →それぞれ37品種
 - →約200枚ずつ (184枚・198枚・200枚など)
- 各クラスの説明

class1:ペットに属するピクセル

class2:ペットを縁取るピクセル

class3:上記以外の周りのピクセル



使用するモデル

- U-Net
 - →画像セグメンテーションに用いられるモデル
 - →エンコーダの特徴マップをデコーダに流すスキップ結合

指標

- 最適化手法Adam
- 損失関数 CrossEntropyLoss
- 評価指標 Dice, ASSD

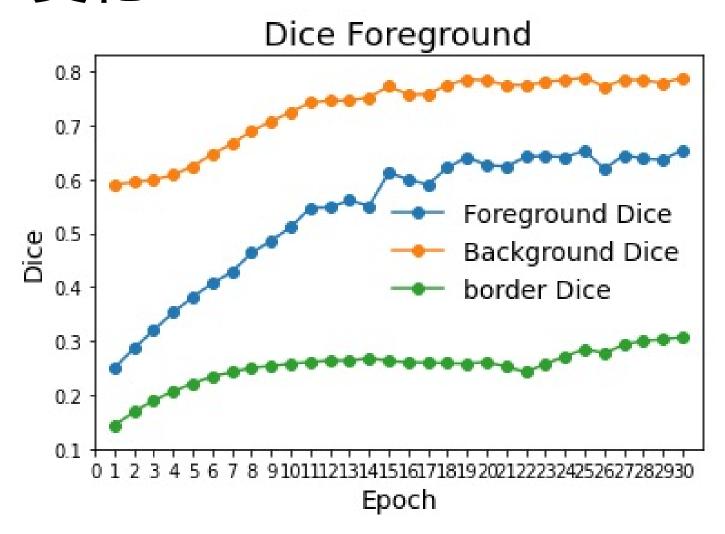
設定

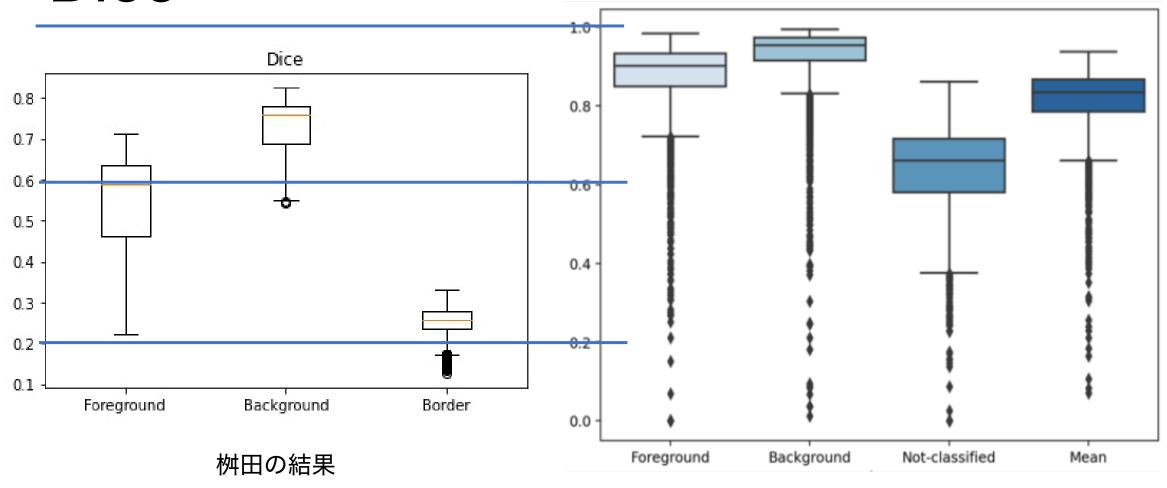
- ・今回は全データ7349枚を使用
- そのうちの70%(5144枚)を訓練用、残りの30%(2205枚)をテスト用として使う
- ・分け方はランダムで、sklearnのtrain_test_split関数を使う
- 画像サイズ:128x128
- ・バッチサイズ:64
- エポック数:30
- 学習率: 0.0001
- データ拡張:horizontalflip

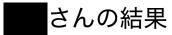
結果

[Foreground][Foreground][Foreground]	Best val Median val Worst val	Dice: 0.684106 Dice: 0.464335 Dice: 0.244564
[Background][Background][Background]	Median val	Dice:0.799941 Dice:0.692820 Dice:0.585699
[Border][Border][Border]	Best val Median val Worst val	Dice:0.321605 Dice:0.234757 Dice:0.147909

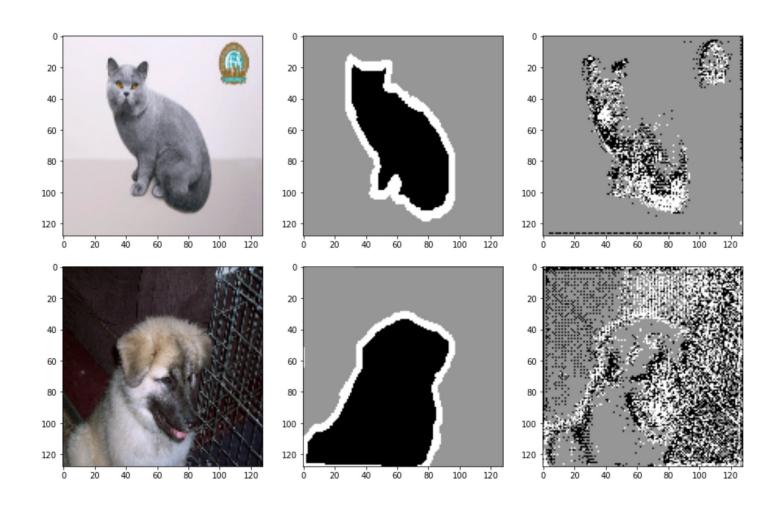
Diceの変化

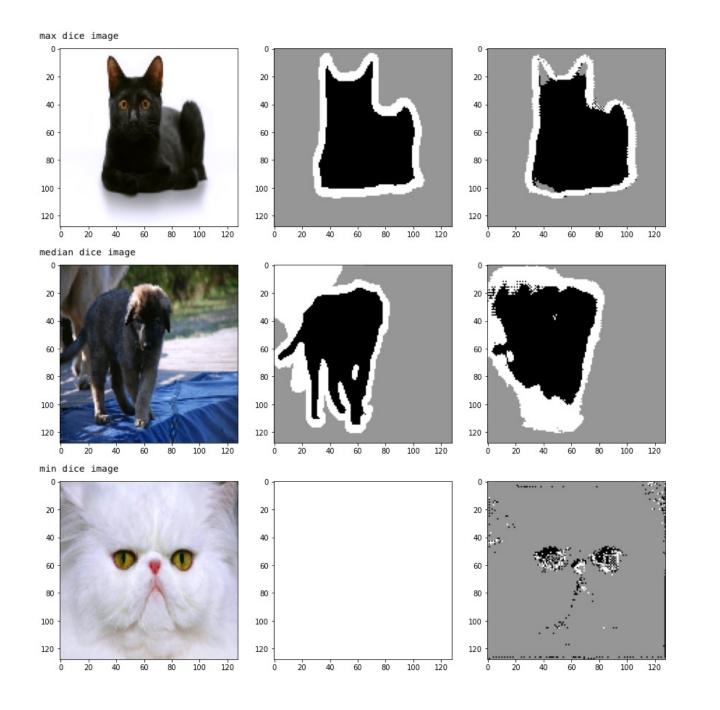






lepoch目の予測結果





Best Sample

Median Sample

Worst Sample

考察

• 差が出ている原因として考えられるもの

		さん	桝田
エンコー	ーダ	Torchvision Mobilenetv3 (pretrained=True)	U-Net official implementation Pretrained=False
訓練時	Epoch数	200	30
訓練時	Batch size	400	64*1
学習率	Adam	1e-3	1e-4

^{*1} kaggle GPUのメモリが16GBでこれ以上厳しい

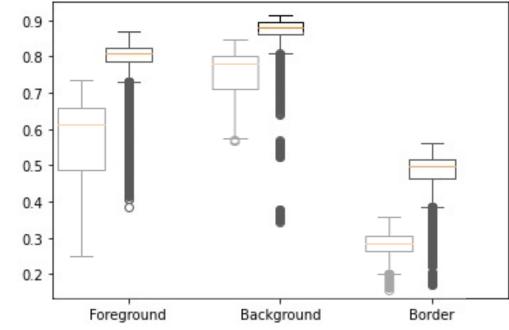
考察

Encoder → MobileNetV2 (pretrained=True)

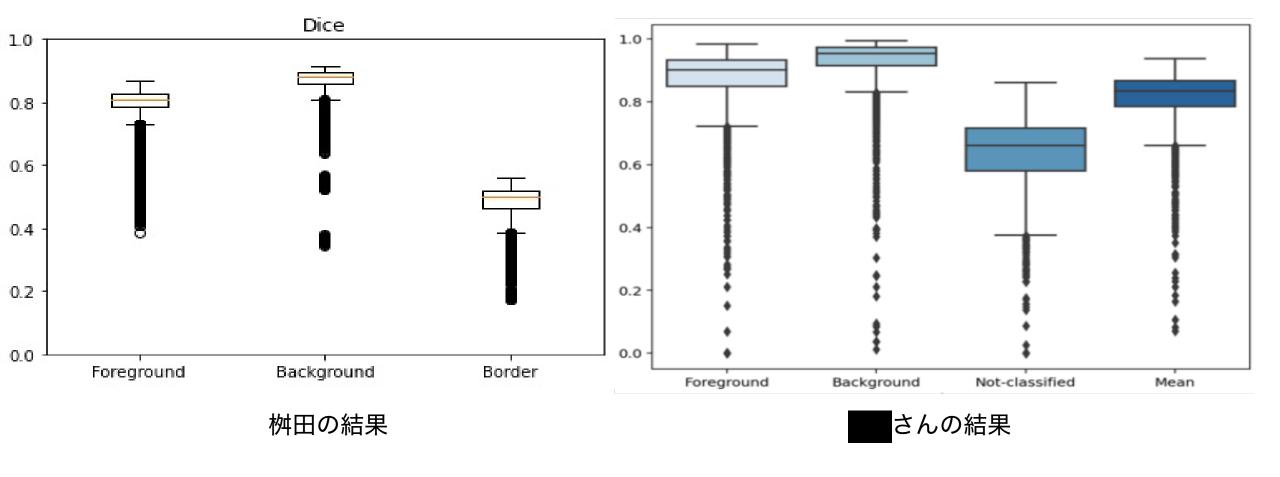
Dice

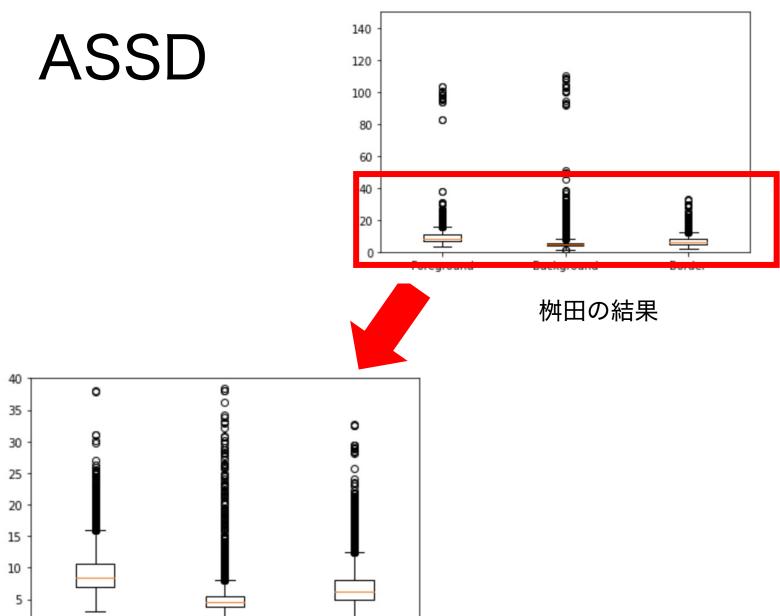
- Epoch 30 → **Epoch 100**
- Lr 1e-4 \rightarrow Lr 1e-3

各クラス右の箱ひげ図が 変更後の結果



3つとも最大値・中央値が 大きく変化



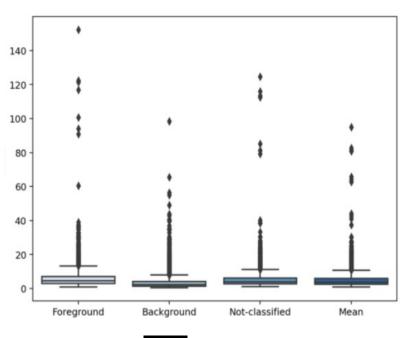


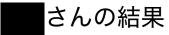
Border

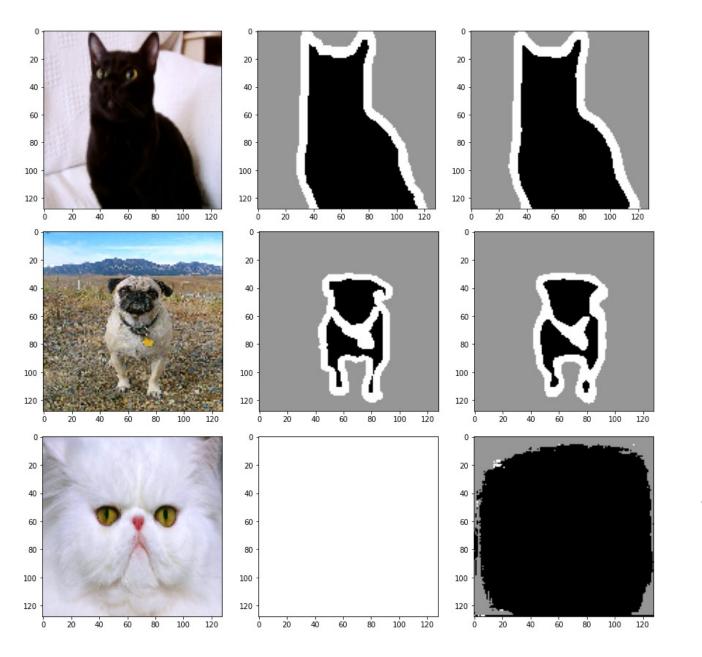
0

Foreground

Background







Best Sample

Median Sample

Worst Sample